

# 令和2年 新年賀詞交歓会開催報告



令和2年1月22日(水)12時20分から、霞が関ビル35階東海大学校友会館「阿蘇の間」において、国会議員、国土交通省、士業団体他友好団体等から多数の来賓の方々をお迎えして、新年賀詞交歓会を開催いたしました。

冒頭、吉村真行会長から挨拶が行われ、引き続き、和田政宗氏(国土交通大臣政務官)、石原伸晃氏(不動産鑑定士制度推進議員連盟会長)、高市早苗氏(総務大臣)、菊地裕太郎氏(日本弁護士連合会会長)からご祝辞をいただいた後、坂本久氏(公益社団法人全国宅地建物取引業協会連合会会長)のご発声により乾杯が行われ、なごやかな歓談のうち、盛会裡に賀詞交歓会を終えることができました。

吉村会長は、挨拶の中で『令和』という新時代を迎え、今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催され日本にとってはまさにビッグチャンスであると思いますが、一方で、人口減少・少子高齢化・所有者不明土地問題・空き家問題・大災害など様々な課題が山積しており、第四次産業革命と呼ばれる時代を迎え、このような状況に対応できる高い実務能力と広い知見を兼ね備えた専門家・実務家がこれまで以上に必要とされる新時代が到来しています。』

「私は6月の会長就任にあたり、『業務拡充』『人材育成』『地位向上』という3つの所信表明をいたしました。

不動産鑑定士という資格・制度の持続的発展を目指して、時代の要請・社会のニーズをしっかりと捉え、国民の役に立てるような業務拡充、次世代を担う人材を発掘し、高い実務能力と広い知見を備えたプロフェッショナルを養成する人材育成、有事における災害対策支援活動を始めた社会的使命をしっかりと果たすこと、信頼性の高いプロフェッショナルとしての仕事を提供することによる不動産鑑定士の認知度アップ、地位向上。この3つの所信のもと、『具体的な



挨拶を述べる吉村真行会長



来賓祝辞を述べる和田政宗国土交通大臣政務官

形とすること』『新たな道を拓くこと』を心掛け、一つひとつ着実に取り組みを進めております。」

「昨年、制度発足から 50 周年を迎えた地価公示制度は、公正・客観的な地価を示すものとして、国民生活や経済活動に不可欠な国民共有の制度インフラとなっており、我々不動産鑑定士は今後も地価公示の果たす重要な役割の担い手であり続けなければなりません。」

「災害時における住家被害認定調査、罹災証明書発行現場での総合支援を始めとした被災地・被災者支援活動は、国民が本当に困っている発災直後の有事において、不動産鑑定士が専門能力を発揮して国民の役に立つことができる社会的使命としての活動ですので、しっかりと役目を果たしていかなければなりません。」「既存住宅の流通活性化における取り組みから始まった新たなチャレンジとして、住宅ファイル制度という提言、JAREA HAS の開発を始めとした建物評価の推進などを行って参りましたが、国民一人ひとりにとって大変重要な住宅分野に今後も不動産鑑定士は関わり続けなければならないと考えております。」

「社会・国民の役に立ち続けることができなければ、不動産鑑定士という資格・制度の今後の発展はありません。」

私達は不動産鑑定士の役割・使命をしっかりと考え、『不動産の価値判断ができる専門家・実務家』として、そして『有事の時こそ役立つ専門家』として、国民目線を持って全力で取り組まなければなりません。これまで以上に社会的使命を果たせるよう会務に尽力して参る所存でございます。今年も引き続き、皆様のご理解ご支援をお願い申し上げます。」と述べました。



乾杯のご発声を取る坂本 久 公益社団法人  
全国宅地建物取引業協会連合会 会長



来賓祝辞を述べる石原伸晃  
不動産鑑定士制度推進議員連盟会長



来賓祝辞を述べる高市早苗総務大臣



来賓祝辞を述べる菊地裕太郎  
日本弁護士連合会 会長



中締め挨拶を行う西川和孝副会長

## ご来場いただいた国会議員の方々（順不同）



今回の新年賀詞交歓会には、前述の和田政宗国土交通大臣政務官、石原伸晃不動産鑑定士制度推進議員連盟会長、高市早苗総務大臣の他、神田憲次内閣府大臣政務官、野田 毅衆議院議員、小林茂樹衆議院議員、石井正弘参議院議員、金子俊平衆議院議員、新谷正義衆議院議員、盛山正仁衆議院議員、中西健治参議院議員、武村展英衆議院議員、山本幸三衆議院議員、片山さつき参議院議員、中川雅治参議院議員、佐藤 啓参議院議員、左藤 章衆議院議員、鬼木 誠衆議院議員の18名の国会議員にご来場いただきました。